

学年	高校2年	教科	地歴公民	科目	政治経済	単位数	6
教科書名	詳述 政治・経済 (実教出版)			副教材名	2024ズームアップ 政治・経済資料 (実教出版) 20日完成スピードマスター政治・経済問題集 (山川出版) 政治・経済用語集 (山川出版)		
コース・クラス	選抜・N進文系						

I 目標

1. 3年次の基礎学力到達度テストに対応できる実力を養う。
2. 民主主義の本質を理解し、広い視野から政治・経済・国際関係について客観的に理解する力を身につける。
3. 政治・経済・国際関係などに関する諸課題について主体的に考察し、解決策を探究する。
4. 公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

II 授業のねらい

1. 日本が直面している国際問題を扱い、自分たちの身近な問題として捉えさせ、日本の立場、解決策を考える。
2. 様々な出来事に歴史的・政治的背景があることを理解させ、物事を多面的に捉える力を身につける。
3. 進路目標に即した問題演習を行うことで、各コースの目標進路に対応できる学力を目指す。

III 授業の進め方

1. 毎時間、冒頭に時事問題を取扱い、世の中の動きをつかむ。
2. 板書を軸とした講義に加え、電子黒板や図表も活用し、効率的に授業を進める。
3. DVDや図表を効果的に活用し、視覚から理解を深める。
4. 小テストを実施し、理解度を確認すると共に、単元ごとに基礎学力到達度テストレベルの問題を解く。

IV 学習上の留意点

1. 現代社会における事象への関心・意欲を高めるような内容を授業に盛り込むこと。
2. 用語の暗記のみではなく、様々な事象と関連付けて覚えること。
3. 板書の書き写しだけではなく、口頭での説明を細かくメモし付随する知識も身につけること。

V 定期試験

- | | | | |
|-----|-------|-----|-----------------------------------|
| 1学期 | 中間試験 | 第1編 | 第1章 (政治と法) ~ 第2章 (平和主義) |
| 1学期 | 期末試験 | 第1編 | 第2章 (基本的人権の保障) ~ 第3章 (地方自治) |
| 2学期 | 中間試験 | 第1編 | 第4章 (戦後政治の歩み) ~ (国民所得と経済成長) |
| 2学期 | 期末試験 | 第2編 | 第2章 (金融のしくみ) ~ 第3章 (社会保障の役割) |
| 3学期 | 学年末試験 | 第2部 | 第1章 (人権の広がり) ~ 第2章 (経済協力と人間開発の課題) |

VI 評価の方法

1. 各学期の定期試験
2. 小テスト
3. 課題提出

VII 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一 学 期	4	第1部 現代日本における政治・経済の諸課題 第1編 現代日本の政治 第1章 民主政治の基本原則 1. 政治と法 2. 民主政治と人権保障の発展	・小テストの実施 ・中間試験の実施 ・小テストの実施 ・期末試験の実施	・人権の意義、法の支配、民主政治の発達、世界の政治体制、20世紀の教訓を学習し、民主政治の課題は何かを考える。 ・日本国憲法の成立、平和主義、人権の保障の内容を学習し、今日における日本国憲法の意義を理解する。安保体制に関する問題は難易度が高いが、時代ごとの内容の変化をしっかりと把握する。 ・国会、内閣、裁判所、地方自治のしくみを学習し、民主主義がどのように実現されているか理解する。 政府や日本銀行による金融、財政の役割を多角的に捉え、日本の景気調整などについて理解する。
	5	3. 国民主権と民主主義の発展 4. 世界の政治制度 第2章 日本国憲法の基本的性格 1. 日本国憲法の成立 2. 平和主義 3. 基本的人権の保障 4. 人権の広がり		
	6	第3章 日本の政治機構 1. 立法 2. 行政 3. 司法 4. 地方自治		
	7			
二 学 期	9	第4章 現代日本の政治 1. 戦後政治の歩み 2. 選挙制度 3. 政治参加と世論 第2編 現代日本の経済 第1章 経済社会の変容 1. 経済活動の意義 2. 経済社会の形成と変容 第2章 現代経済のしくみ 1. 市場機構 2. 現代の企業 3. 国民所得と経済成長 4. 金融のしくみ 5. 財政のしくみ	・小テストの実施 ・中間試験の実施 ・小テストの実施 ・期末試験の実施	・資本主義経済の発達と変容、その特徴について学習し、経済活動の意義と経済のグローバル化が生活に及ぼす影響について考える。 ・社会主義経済の成立と崩壊について理解する。 ・経済主体、市場、国民所得、経済成長を学習し、経済活動がどのように調整されているか考える。また、需給曲線がどのように動くか理解する。 ・政府や日本銀行による金融、財政の役割を多角的に捉え、日本の景気調整などについて理解する。 ・中小企業、農業、国民の生活、環境・公害、労働問題、社会保障等、多様な課題への取り組みを考える。
	10	第3章 現代経済と福祉の向上 1. 経済の停滞と再生 2. 日本の中小企業と農業 3. 国民の暮らし 4. 環境保全と公害防止 5. 労使関係と労働条件の改善 6. 社会保障の役割		
	11			
	12			

二 学 期	1	第2部 グローバル化する国際社会の諸課題 第1章 現代の国際政治 1. 国際政治の特質と国際法 2. 国際連合と国際協力 3. 現代国際政治の動向 4. 核兵器と軍縮	・小テストの実施 ・期末試験の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・国際法の変遷や国際連合の特徴、冷戦終結後の国際政治等の戦後史を知るとともに、現代の国際社会が抱える諸課題について考察を深める。 ・核軍縮や管理について、国際社会における取組と日本の貢献について考える。 ・国際紛争や難民問題発生の歴史的背景を知り、複雑に絡みつく国家間の対立の理由を理解する。 ・戦後、日本が果たしてきた国際政治上の役割を知り、今後の多様化する世界にどのように対応していくべきか考察する。 ・国際経済体制の変化について考える。戦後の国際秩序の変化に関わる諸問題を理解する。
	2	5. 国際紛争と難民 6. 国際政治と日本 第2章 現代の国際経済 1. 商品・資本の流れと国際収支 2. 国際経済体制の変化 3. グローバル化と世界金融		
	3	4. 地域経済統合と新興国の台頭 5. 地球環境とエネルギー 6. 経済協力と人間開発の課題		

※ シラバスの内容については、進捗状況、理解度、その他の都合により変更する場合がある。